

# 市川市地域福祉計画策定のためのアンケート調査から見てきたこと

自発的に自力で生活課題を解決する力

## 自助



**日常生活に関することでの困りごと、不安事**  
【市民(Web)】  
第1位:地震や台風などの自然災害に対する不安 40.5%  
第2位:自分の健康状態 23.2%  
第3位:地域の治安、経済的な状況 18.8%

**地震や災害に備えた日頃の対策**  
【市民(Web)】  
第1位:懐中電灯などの非常用持ち出し品を準備している 70.0%  
第2位:3日以上以上の食品、飲料水を備蓄している 51.7%  
第3位:簡易トイレの備蓄をしている 41.9%

**生活上の問題で相談したいときの相談相手**  
【市民(Web)】  
第1位:家族や友人等身近な人 78.9%  
第2位:インターネット(市公式Webサイト以外)で情報を入手 37.2%  
第3位:市役所 33.8%

**地域ケアシステムの認知度**  
【市民】  
Web72.4%、紙62.8% が知らない  
【ボランティア団体・NPO法人】  
31.7% が知らない  
【民生委員・児童委員】  
13.1% が知らない

**地域ケアシステムでやってもらいたい事**  
【ボランティア団体・NPO法人】  
第1位:他分野(高齢者・子ども・障がい者)の活動団体が積極的に参加できる環境を作ってほしい 28.6%  
【民生委員・児童委員】  
第1位:地域ケアシステムの地域間の情報交換・交流を促進してほしい 25.8%

・支え合いの地域づくり(地域ケアシステム、共助)についての、認知度は徐々に増加しているが、市民全体には浸透していない。  
・コミュニティワーカーの認知度も、地域福祉に関わる方々から、その活動内容について、あまり知られていないことが判明。  
・行政(公助)については、相談や支援の充実であり、特に相談窓口の整備、関係者ネットワークの充実、孤立した人や支援が必要な人を発見する仕組みづくりを、優先的に取り組むことが期待されている。

## 互助



それぞれが抱える生活課題をお互いで解決する力

# 地域共生社会



地域生活課題を解決する民間の力

## 共助

**コミュニティワーカーの認知度**  
【ボランティア団体・NPO法人】  
58.8% が知らない  
【民生委員・児童委員】  
44.1% が知らない

**コミュニティワーカーに期待する支援内容**  
【福祉委員】  
第1位:地域住民による支え合い・見守りネットワーク作りの支援 49.8%  
第2位:地域活動の担い手の発掘・養成 42.3%  
第3位:地域の課題の発見と共有化の支援 39.3%

自助・互助・共助では対応できない、地域生活課題を解決する公の力

## 公助



**地域福祉の充実のために市が取り組むべき事**  
【市民】  
第1位:子育て支援(Web回答) 30.2%  
身近な相談窓口の整備(紙回答) 30.4%

**地域福祉の充実のために市が優先的に取り組むべき事**  
【民生委員・児童委員】及び【福祉委員】  
第1位:身近な相談窓口の整備

**地域福祉の充実のために市が優先的に取り組むべき事**  
【ボランティア団体・NPO法人】  
第1位:ボランティアやNPO活動への支援 31.7%  
第2位:福祉に関する情報提供、高齢者・障害者等の介護や生活支援、孤立した人やひきこもりの人へ支援、支援が必要な人を発見する取組 各19.0%

**地域共生社会に向け市が力を入れて取り組むべき事**  
【市民】  
第1位:相談しやすいように窓口などの開設時間や相談受付の方法を改善させる(Web回答) 33.2%  
身近な地域において相談を受け付けられる機能を充実させる(紙回答) 27.0%  
【ボランティア団体・NPO法人】  
第1位:市役所に総合的な相談を受け付けられる窓口を設置する、相談から支援に結び付けられるよう関係者のネットワークを充実させる 各22.2%  
【民生委員・児童委員】【福祉委員】  
第1位:身近な地域において相談を受け付けられる機能を充実させる

